

カメラ映像を用いた自動計測による交通量調査（R7 道路交通センサス関連）

公募型プロポーザル選考委員会 議事要旨

項	目	内 容
1	日 時	令和7年7月18日 13時30分から16時30分まで
2	場 所	北館6階会議室
3	出席委員	広島県土木建築局土木整備担当部長 広島県土木建築局道路整備課長 広島県土木建築局道路企画課長 広島県土木建築局建設DX担当課長 広島県総務局DX推進課長
4	議 題	プレゼンテーション審査
5	担当部署	広島県土木建築局道路整備課
6	開催方法	参集
7	議事内容	<p>1 審査方法 提出された企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選考委員会において審査の上、最も高い評価値を得たD社（株式会社中電工 広島統括支社）を最優秀提案者として決定した。</p> <p>2 提案者（◎：最優秀提案者） A社：株式会社 荒谷建設コンサルタント B社：和可奈エンジニアリング株式会社 C社：復建調査設計株式会社 広島支社 D社：株式会社中電工 広島統括支社（◎） E社：広建コンサルタンツ株式会社 F社：中電技術コンサルタント株式会社広島支社</p> <p>3 各提案者の評価値 「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり</p> <p>4 最優秀提案者への主な意見 （D社：株式会社中電工 広島統括支社）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務の特性を適切に理解したうえで、カメラの調達方法、設置対策等について具体的な提案となっている。 ・経験を踏まえた実効性のある企画提案となっており、調査についてはリスクも含め具体的なイメージが示されている。 ・実績ある自社保有技術を使用することや、観測機器や実施体制が充実していることから、着実かつ円滑な業務履行が期待できる。

5 非選定提案者への主な意見

(A社：株式会社 荒谷建設コンサルタント)

- ・業務内容を理解した上で、必要なカメラ台数の確保や、現地状況に応じた対策・安全管理等について具体的な提案があり、適切な履行が見込まれる。
- ・実際に用いるカメラによるデモンストレーションを実施し、画像確認等を行った点は評価できるが、AI解析の具体的な手法が不明確であり、精度確保等に不安がある。

(B社：和可奈エンジニアリング株式会社)

- ・業務の実施方針や実施体制について適切な記載があり、精度基準や補正方法について具体的な提案があることから、一定の水準での業務履行が期待できる。
- ・カメラの設置高さが他社に比べ低く、車両の重なり等による計測ロスの懸念があることと、使用する予定の画像解析システムについての具体的な記載がなく精度確保について不安がある。

(C社：復建調査設計株式会社 広島支社)

- ・調査にあたっての課題を的確に把握し、全体的に具体的な提案が行われている。
- ・優れた実施体制及び豊富な経験・実績により確実な調査実施が見込まれるとともに、精度確保等の提案について、根拠も含め具体的に記載されており評価できる。

(E社：広建コンサルタンツ株式会社)

- ・業務の実施方針や実施体制について優れた提案があり、一定の水準での業務履行が期待できる。
- ・カメラ設置について道路利用者への配慮等が十分とは言えないことや、精度確保できなかった場合の補正方法について不明瞭な部分があり不安がある。

(F社：中電技術コンサルタント株式会社広島支社)

- ・カメラや解析ツールの内容、及び調査時の安全管理等について具体的な提案があることから、一定の水準での業務履行が期待できる。
- ・精度の確認方法や補正係数の取扱いについて具体性がなく、精度確保について不安がある。